

**「大学生に対するクレジットカードに
関するアンケート(令和元年度)」
結果報告書**

令和2年8月



一般社団法人

日本クレジット協会

1. 概要

(1) 目的

大学生におけるクレジットカードの所有の有無と、クレジットカードに関する意識を調査するため

(2) 回答者: 375名

- ①立正大学「現代社会と法Ⅱ」受講生(3年、4年)
- ②日本大学商学部「特殊講義 金融サービス・ビジネス」受講生(2～4年生)
- ③流通科学大学「特別講義 金融経済」受講生(2年生)
- ④明治大学国際日本学部「特別講義A」受講生(1～4年生)

(3) 調査日

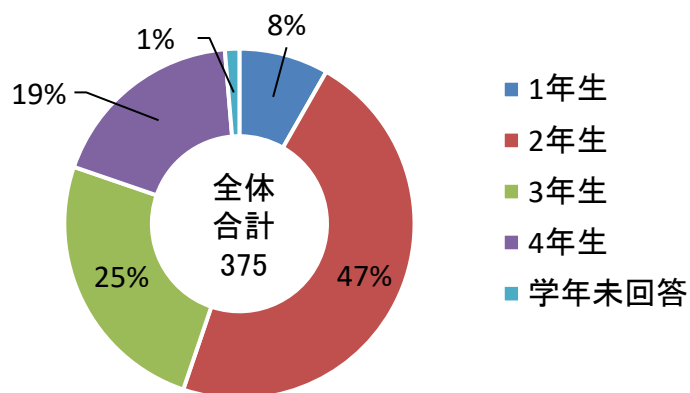
- ①令和元年4月～7月(立正大学)
- ②令和元年5月23日(日本大学)
- ③令和元年5月30日(流通科学大学)
- ④令和元年6月27日(明治大学)

2. 回答者属性

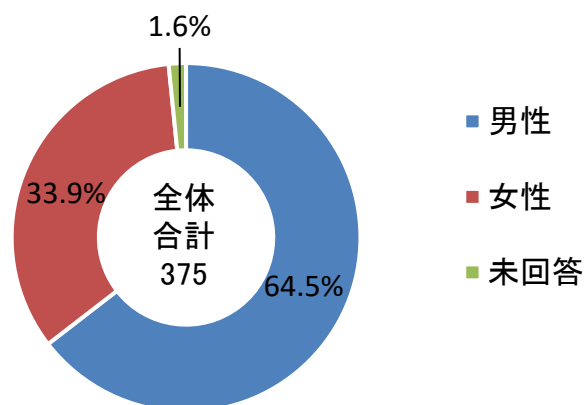
<大学別内訳>

回答校	1年生	2年生	3年生	4年生	学年未回答	総計
立正大学	0	0	38	34	0	72
日本大学	0	126	44	34	5	209
流通科学大学	20	41	12	0	0	73
明治大学	11	9	0	1	0	21
総計	31	176	94	69	5	375

属性(学年別)



属性(性別)

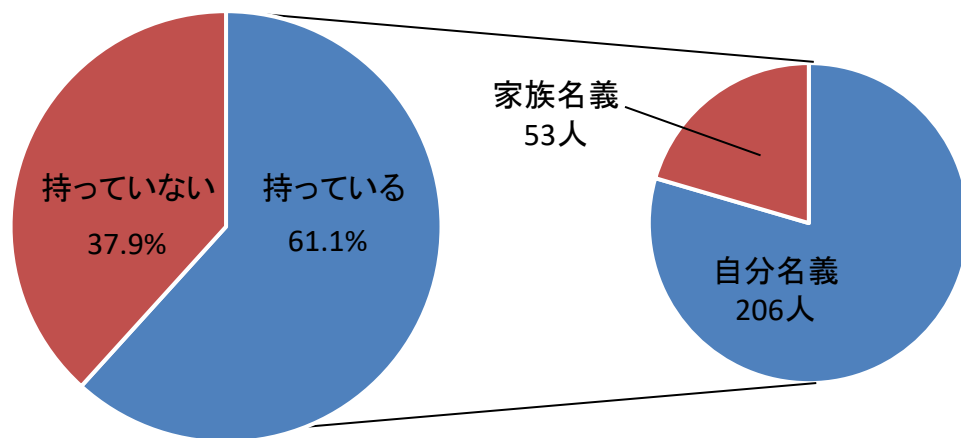


3. 調査結果

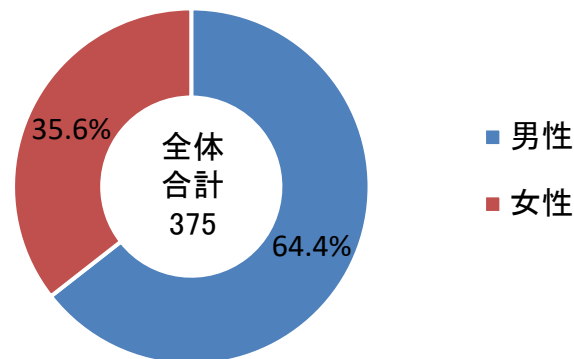
(1-1) クレジットカード所持率

今回の調査では、大学生のクレジットカード所持率は61.1%であり、前回の調査(平成29年度)の54%から7%増加し、また所持している学生の約8割が自分名義のカードを持っている。

カード所持率



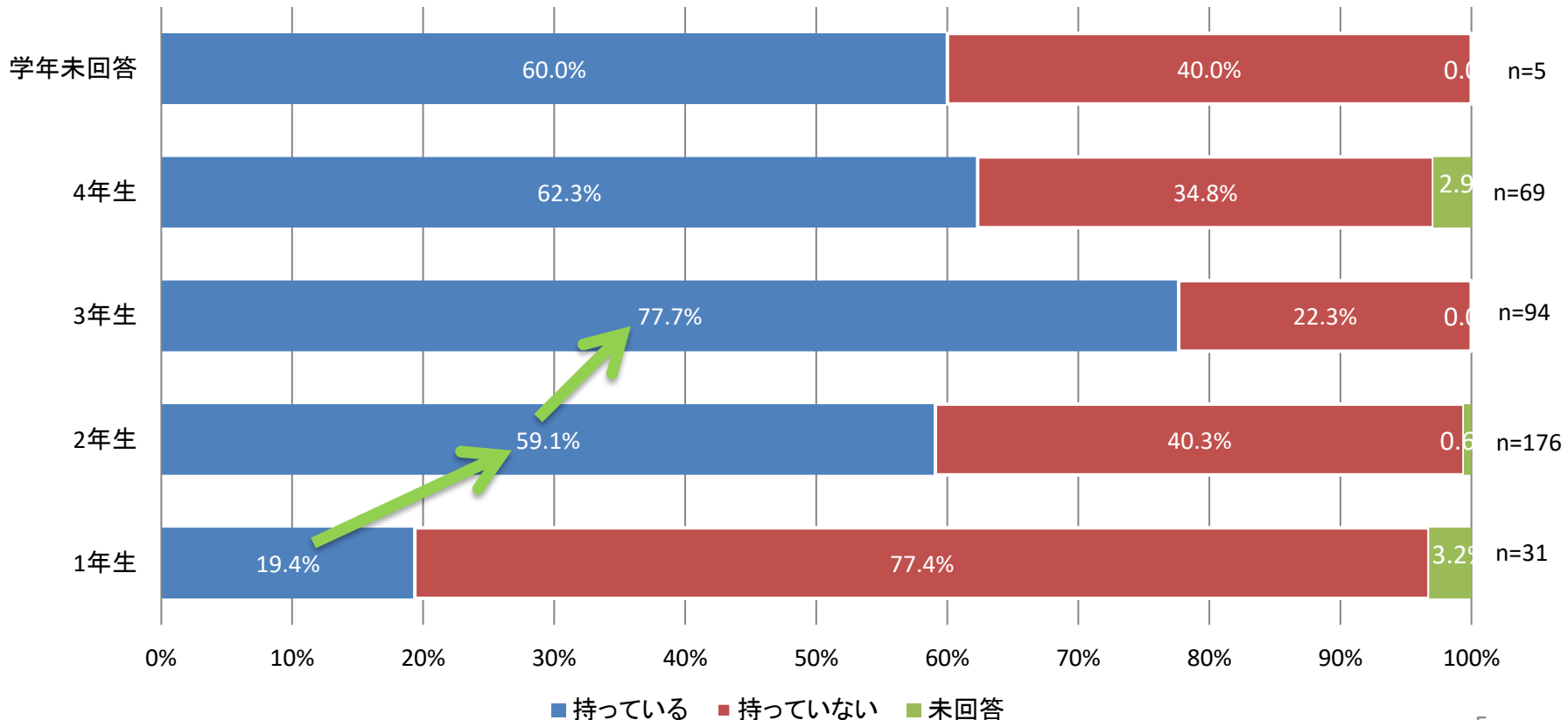
所持者の男女比



(1-2) クレジットカード学年別所持率

学年別の所持率では、1年生の所持率が19.4%であるのに対し、2年生になると59.1%、3年生では70%を超えていることから、学年が上がるにつれて所持率が高くなる傾向にあることがうかがえる。なお、4年生の所持率が3年生より低い要因は不明。

所持率(学年別)



(2-1) 所持枚数

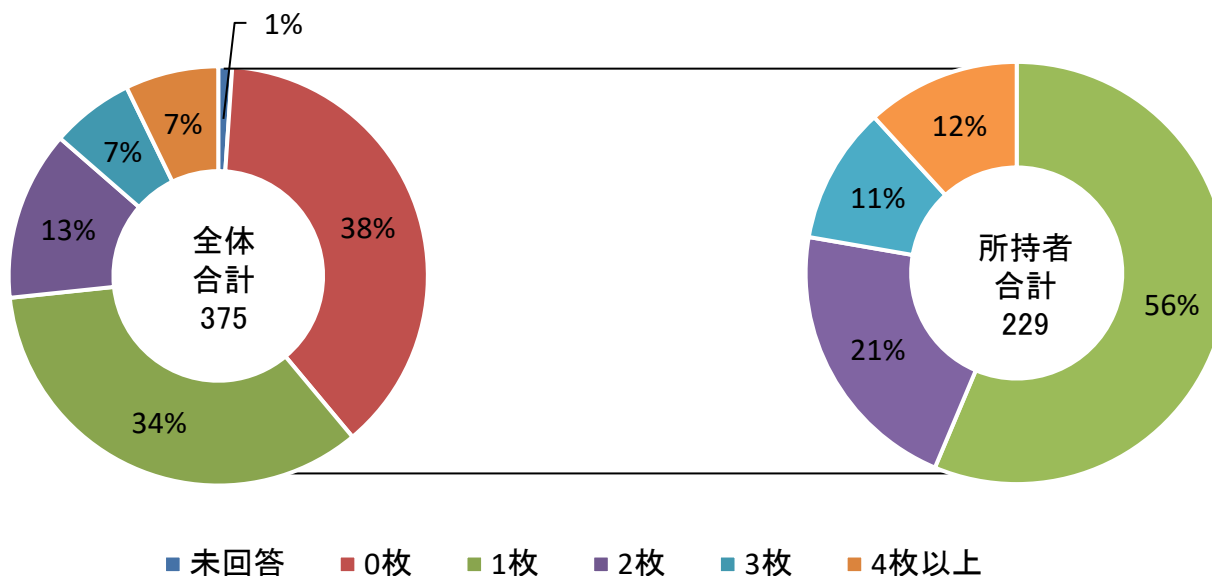
クレジットカード所持者の平均所持枚数は、前回の調査(約1枚)から変わらず今年も約1枚であり、日本の総人口一人当たりの平均枚数である2.2枚の半分という結果になった。

※日本の総人口については総務省統計局「人口推計-2019年(平成31年)3月報-」より。

※クレジットカード発行枚数については(一社)日本クレジット協会統計「クレジットカード発行枚数調査結果」より。

※自分名義および家族名義のカードのどちらも所持している場合は、2つを合算した数を所持枚数としてカウントしている。

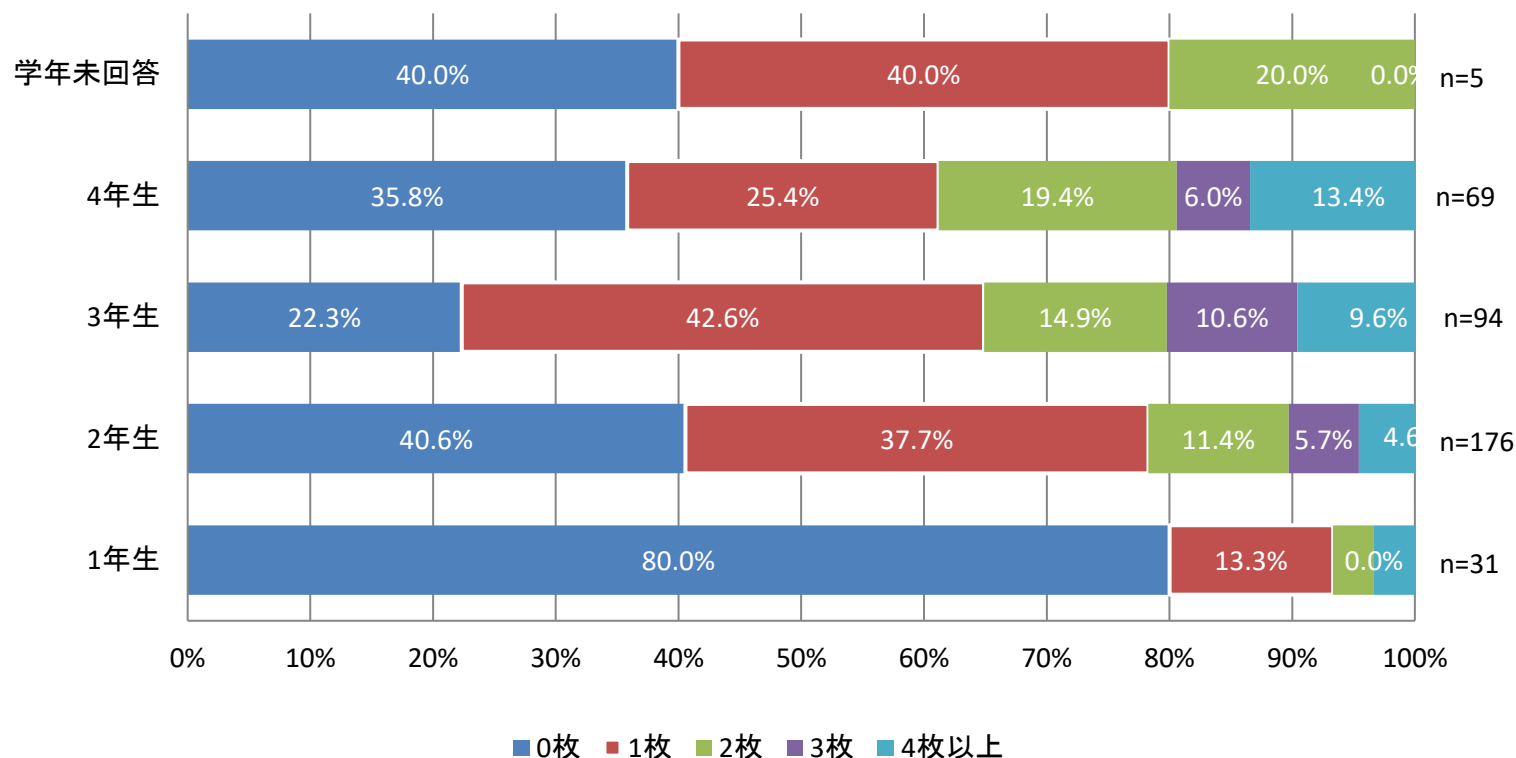
平均所持枚数



(2-2) 所持枚数(学年別)

クレジットカード所持者の平均所持枚数を学年別で見ると学年が上がるにつれ、複数枚所持する学生が増えていることから、大学卒業後には複数枚所持する人が多くなることが考えられる。

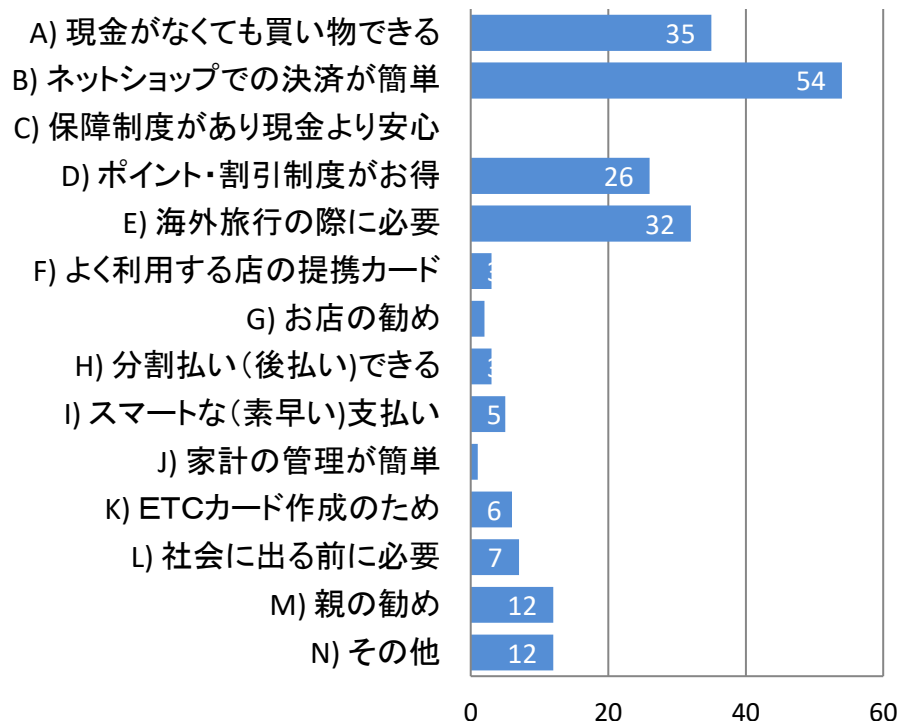
所持枚数(学年別)



(3) クレジットカードを持った理由

クレジットカードを持った理由は、前回の調査結果と同様に「インターネットショッピング等で決済が簡単にできるから」という理由が最多であった。また、「現金の持ち合わせがなくても買い物ができるから」、「海外旅行の際に必要」が続き、前回と同様の傾向でネットショッピングや海外旅行の際にクレジットカードを利用する学生が多いことがうかがえる。

カードを持った理由



《その他の回答》

●大学生生活関連

- ・協会による講義がきっかけ
- ・バイトを始めるときに作った
- ・ジムを利用するため

●銀行関連

- ・銀行口座を作るときに勧められた
- ・キャッシュカード作る際、クレジット機能を付けられた

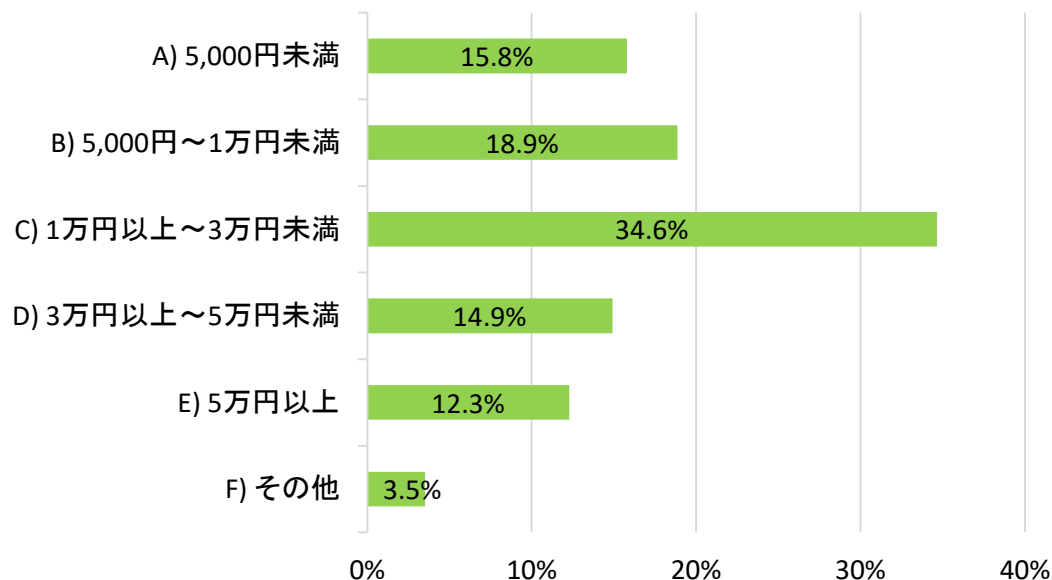
●その他

- ・現金を持ち歩きたくないため
- ・レンタカーを借りるため
- ・カードを作ると5,000円分のギフトカードがもらえたから
- ・安く買い物をしたくてショッピングセンターで入会し、登録した

(4) 1ヶ月のクレジットカードの平均支払額 (カード所持者の回答)

1ヶ月のクレジットカードの平均支払額は「1万円以上～3万円未満」が最多であった。学生のため、アルバイト等の給与で支払える範囲内でクレジットカードを利用していることがうかがえるが、3万円以上や5万円以上の回答も一定数あった。

1ヶ月のクレジットカード平均支払額



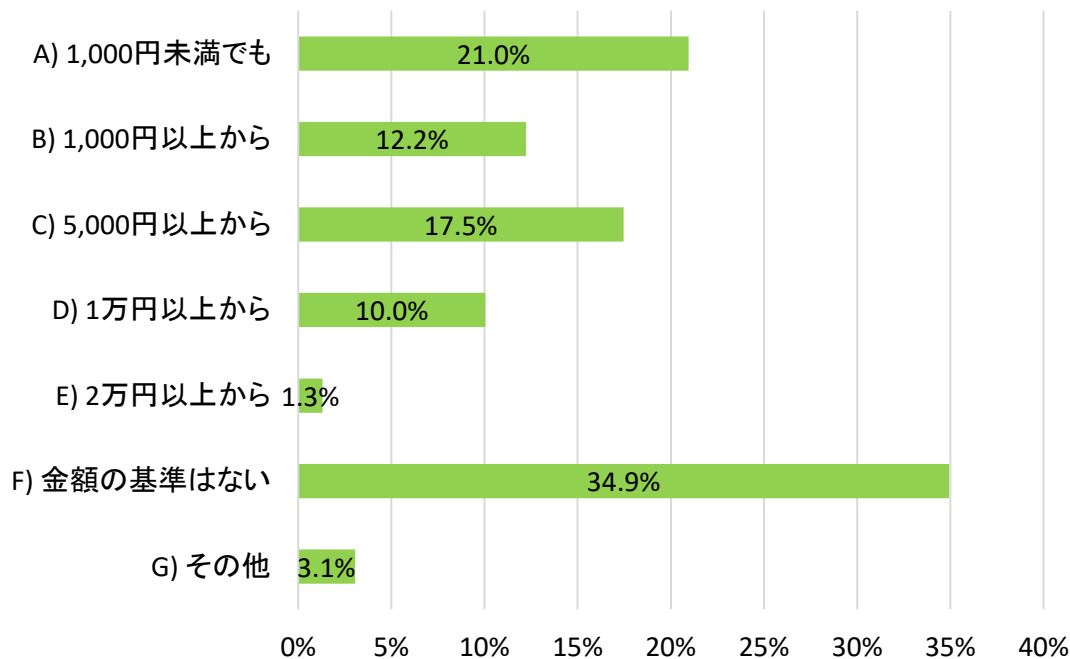
《その他の回答》

- ・デビットカードを利用しているが、デビットカードの月々の支払額では「1万円以上～3万円未満」に該当する
- ・クレジットカードは持っているが、使っていないから
- ・その時々で支払額に変動がある
- ・作ってから今まで1回しか使用していないから

(5) クレジットカードを利用する金額の基準 (カード所持者の回答)

クレジットカードを利用する際の金額の基準は、「金額の基準はない」が34.9%で最多となった。「1,000円未満でも」が次いで21%という結果から、金額に関係なく、単価が安いものでもクレジットカードを利用する人が多いことがうかがえる。学生の中で、クレジットカード決済の優先順位が高くなってきているようである。

クレジットカードを利用する金額の基準



《その他の回答》

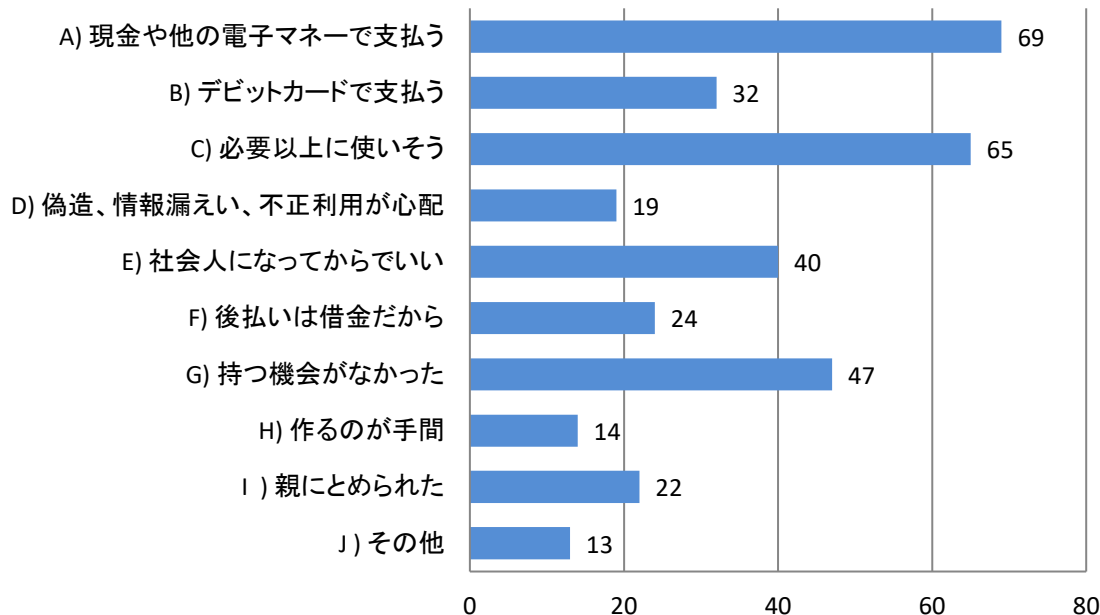
- ・クレジットカードを持っているが、基本利用しない
- ・デビットカードを利用している
- ・インターネットで買い物するときは、支払手段をクレジットカードを選び、使うようにしている
- ・まだカードを使ったことがないため不明
- ・3万円以上の時に使う

(6) クレジットカードを持っていない理由 (カード非所持者の回答)

クレジットカードを持っていない理由としては、「現金や他の方法(電子マネーなど)で支払うため、必要性を感じないから」が最多となった。次いで「必要以上に使いそう」、「持つ機会がなかった」と続く。前回調査から回答に追加した「デビットカードで支払う」を選んだ学生も多く、現金や電子マネー、デビットカードなど、クレジットカード以外の支払手段で十分と考える学生もいることがうかがえる。

一方、「偽造、情報漏えい、不正利用が心配」という回答は前回と同じく少数であり、不正利用に対しての心配は多くないようである。

カードを持たない理由(最大3つ選択)



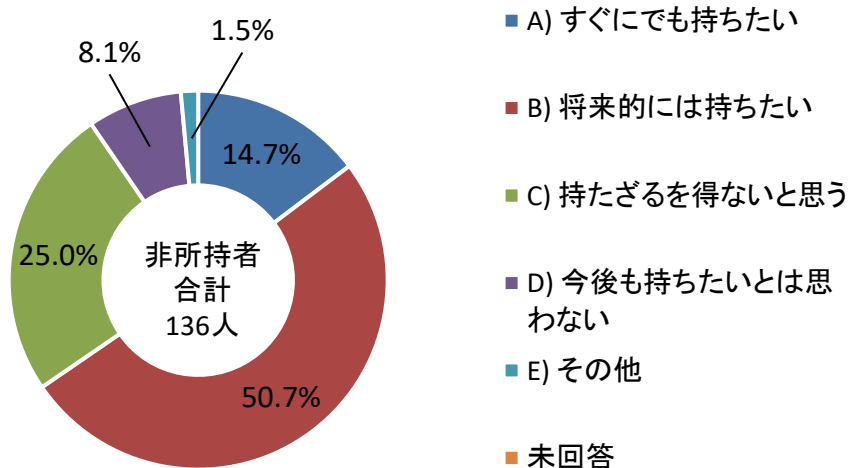
《その他の回答》

- ・そろそろ作る予定
- ・作りたいが20歳未満のため成人するまで我慢している
- ・種類がありすぎて自分に合ったカードが分からず考え中のため
- ・ただ作っていないだけ
- ・作るのが面倒くさいため
- ・まだ必要がないと思っているため
- ・クレジットカードを持つ程お金が無いから
- ・プリペイドカードや電子マネーを利用して、利用するとすぐ引き落とされるため、クレジットカードより分かりやすく安心だから

(7) クレジットカードに対する今後の考え (カード非所持者の回答)

カードを持っていない人のクレジットカードに対する今後の考えについては、「すぐにでも持ちたい」が14.7%、「将来的には持ちたい」は50.7%と、合わせて65%以上の学生が今後クレジットカードを持ちたいとしており、前回調査(71.4%)に引き続いてクレジットカードを持つことに対して前向きな意見が多いことがわかった。

今後の考え方



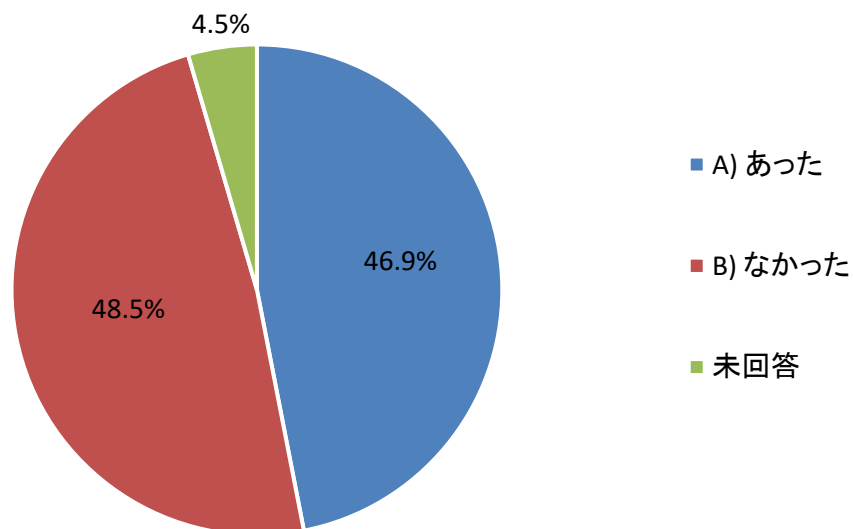
《その他の回答》

- ・就職したら持ちたい
- ・今年の内を持ちたい

(8) クレジットカードのルールや利用方法など情報を得る機会があったか

クレジットカードのルールや利用方法など情報を得る機会の有無については、「あった」が46.9%、「なかった」は48.5%と、ほぼ同じ割合となった。

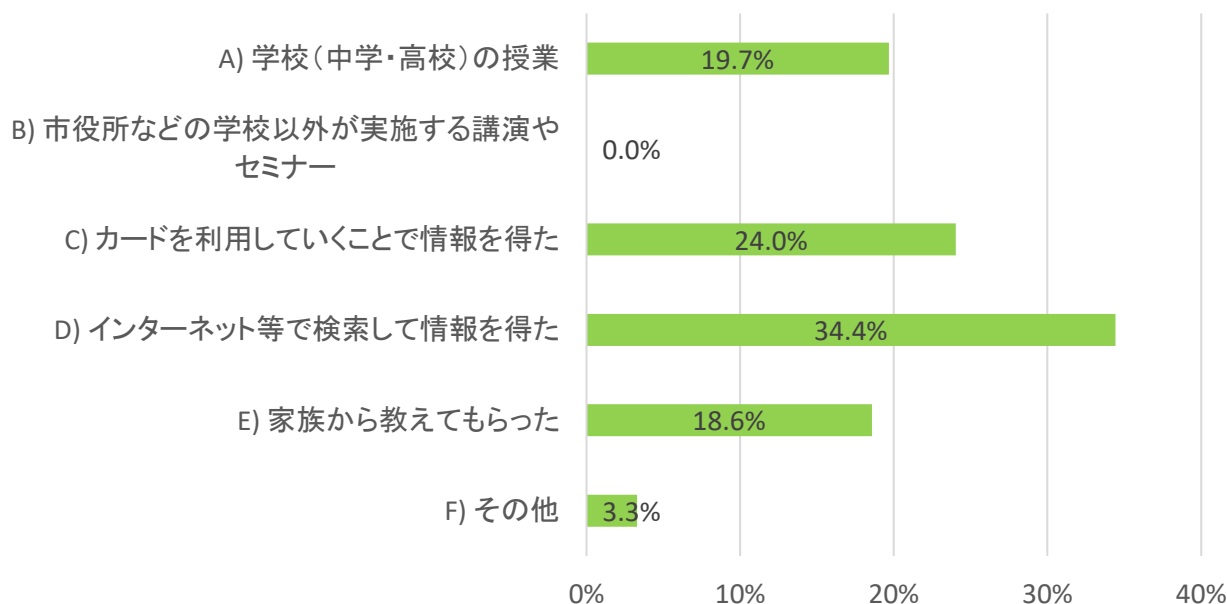
クレジットカードのルールや利用方法など情報を 得る機会について



(9) クレジットに関してどのように情報を得たか (問8で「あった」と答えた方の回答)

クレジットカードのルールや利用方法について情報を得た方法として、「学校(中学・高校)の授業」と答えた学生が約2割いることがわかった。そのほか「インターネット等で検索して情報を得た」、「カードを利用していくことで情報を得た」という回答が多かった。

クレジットカードのルールや利用方法について どのように情報を得たか



《その他の回答》

・協会の授業、講義

・大学の講義

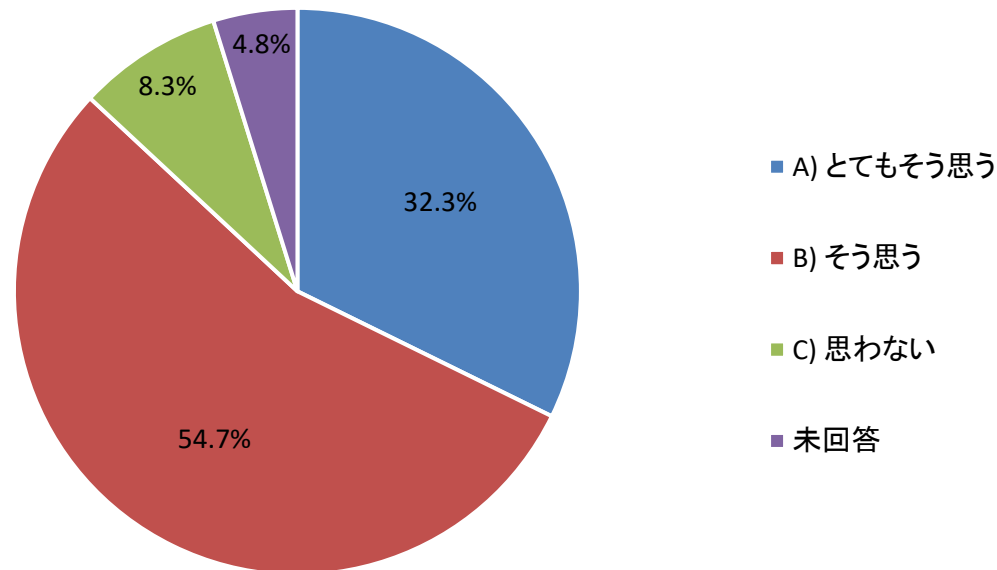
・就職活動の中で

・クレジットカードを作るときに案内を受けた

(10)クレジットカードのルールや利用方法など情報を得たいか

クレジットカードのルールや利用方法など情報を得たいかについては、「とてもそう思う」が32.3%、「そう思う」は54.7%と、8割以上の学生が情報を得たいとしており、この結果からクレジットカードに関する情報収集について前向きな姿勢がうかがえる。

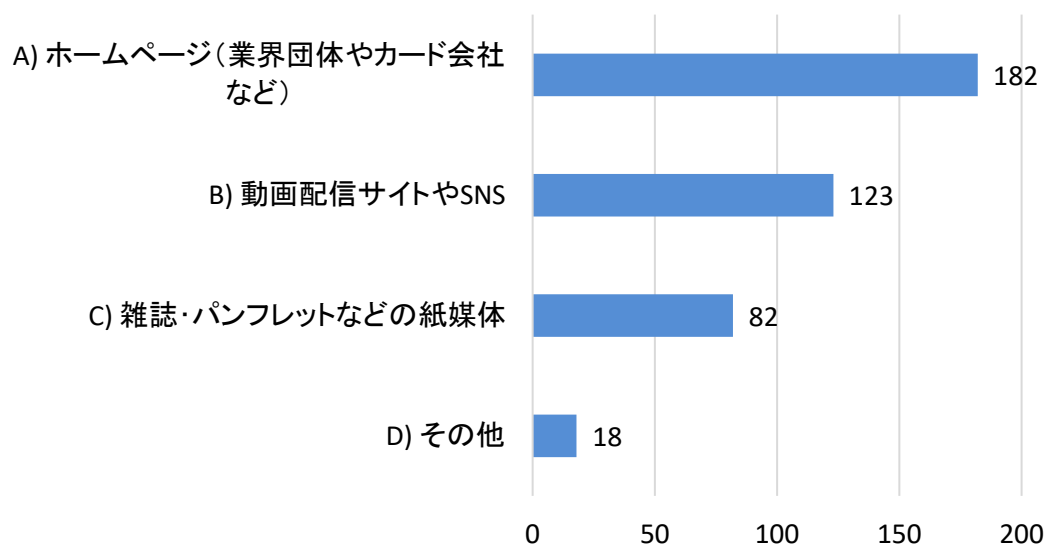
クレジットカードのルールや利用方法など情報を得たいか



(11)どのような形で情報を得たいか (問10で「とてもそう思う」、「そう思う」と答えた方の回答)

クレジットに関する情報をどのような形で得たいかについては、「業界団体やカード会社などのホームページから」が最多であった。次いで、「動画配信サイトやSNS」が続いた。日常的にインターネットが身近にある学生にとっては紙媒体よりもインターネットやSNSから情報を得る方が手軽であることがうかがえる。

クレジットに関する情報を得るための媒体 (複数回答)



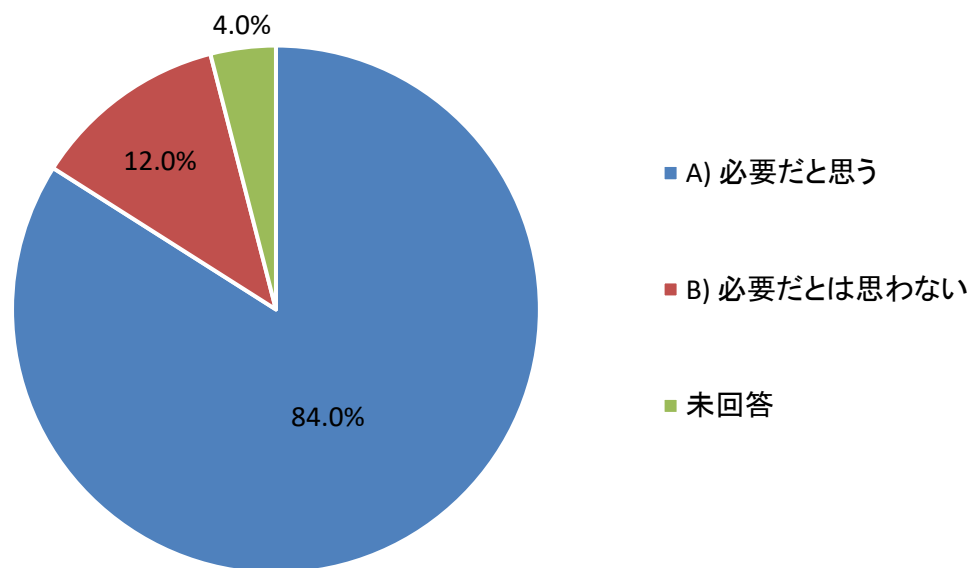
《その他の回答》

- ・大学などの講義や講座にて
- ・カード申込みの手続の際に口頭で説明を受ける
- ・詳しい人から直接話を聞く
- ・マンガから
- ・両親から
- ・信頼できる会社や団体の公式ツイッターなどから

(12) 学校(中学・高校)でのクレジット教育は必要だと思うか

「クレジット教育は必要だと思うか」については、「必要だと思う」が84.0%と8割以上の学生が学校でのクレジット教育を必要としており、クレジットに関する学習について前向きな姿勢がうかがえる。

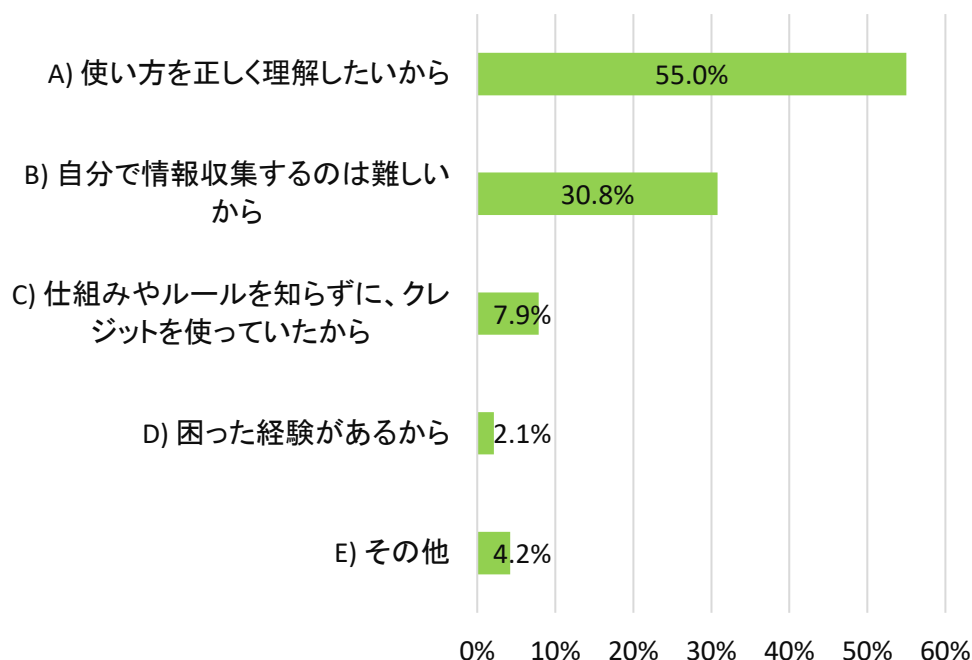
学校でのクレジット教育について



(13) 学校でのクレジット教育が必要な理由 (問12で「必要だと思う」と答えた方の回答)

学校でのクレジット教育が必要な理由として、設問11で「必要だと思う」と答えた方の半数以上(55%)が「使い方を正しく理解したいから」と回答した。次いで、「自分で情報収集するのは難しいから」が30.8%と続いた。

学校でのクレジット教育が必要な理由



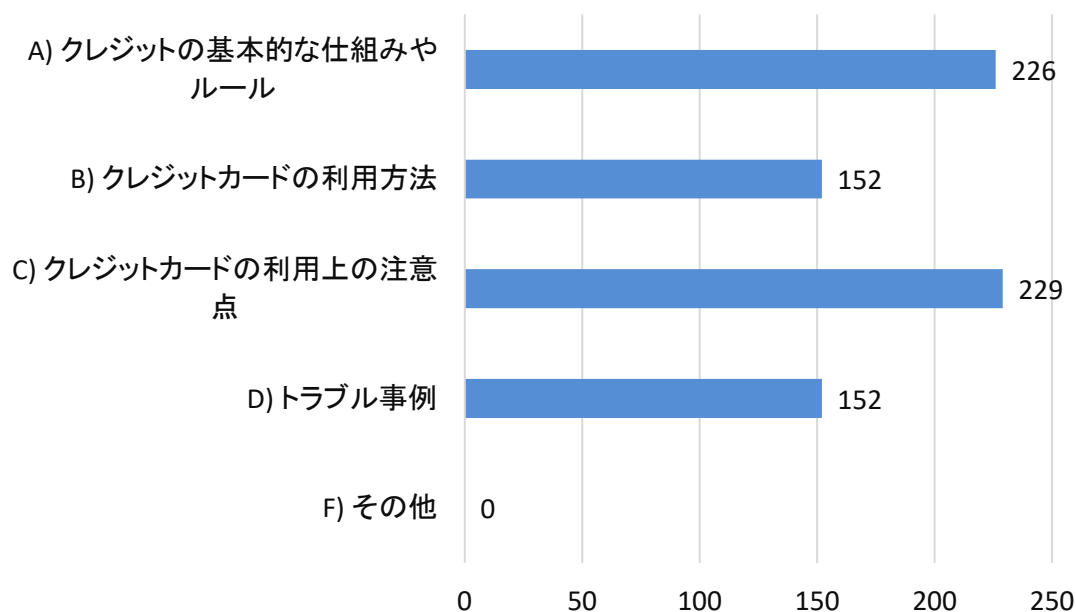
《その他の回答》

- ・世の中がキャッシュレス化し、使う機会が増えると思うから
- ・社会に出たら行動範囲が広がると思うからその前に知りたい
- ・いずれ必要になることなら早くに覚えた方が良いから
- ・何より便利だから
- ・将来、仮想通貨などが当たり前になると言われているから
- ・同世代の労働力が自己破産するのは困るから
- ・ルールを知らなければ自分が損をするから
- ・高校からアルバイトする人もいるから
- ・意外な落とし穴にひっかからないために知っておきたいから

(14) 学校でのクレジット教育で学ばなければならないと思うこと

学校でのクレジット教育で学ばなければならないことについては、「クレジットカードの利用上の注意点」と「クレジットカードの基本的な仕組みやルール」がほぼ同数で最多となった。

学校でのクレジット教育で学ばなければならないこと(複数回答)



《その他の回答》

- ・今回の大学での講義内容全般
- ・実際の経験に基づく事例の紹介
- ・クレジットカードの選び方
- ・クレジットカードのメリットとデメリット、(便利さと注意点)
- ・支払いの大切さ
- ・カード犯罪について
- ・個人情報について

4. まとめ

○今回の調査で、全体としては大学生の6割がクレジットカードを所有しており、カードを所有していない人の6割も今後は持ちたいと考えていることから、多くの学生がクレジットカードの必要性を感じており、今後クレジットカードを利用していく可能性が高いことが判明した。

○クレジットカードを持った理由としては、「インターネットショッピング等で決済が簡単にできるから」という回答が最多であったが、前回と同様の傾向で、現金がいないというキャッシュレスの面に魅力を感じている学生や海外旅行での利用を考える学生が多いことがうかがえた。

○一方で、クレジットカードを持っていない理由は、「現金や他の支払方法で支払うため、必要性を感じない」が最も多かった。「偽造、情報漏えい、不正利用などが心配」という回答は前回同様に少数だったため、学生はマイナスなイメージからカードを持たないのではなく、単純にクレジットカードの必要性を感じていない学生が多いことが推測される。

○クレジットカードに関するルールや利用方法については、全体で8割以上の学生が情報を得たいとし、また学校でのクレジット教育についても「使い方を正しく理解したいから」、「自分で情報収集するのは難しいから」という理由で8割の学生が「必要」と回答したことから、クレジットに関しての学習について前向きな姿勢がうかがえる。

以上のことから、大学生に対しては、引き続き「正しいクレジットカードの利用方法」や「利用上の留意点」等について周知することを目的とした広報・啓発活動を行うことが重要と思われる。